

第11回赤穂海浜公園管理運営協議会 議事録

日時：令和7年2月3日（月）14：00～16：00

場所：赤穂海浜公園オートキャンプ場会議室

出席者：別添出席者名簿参照

配付資料：資料1 R6年度の協議会での意見と回答等

資料2 令和6年度イベント・グループ活動募集・実施状況報告

資料3 インクルーシブプレーパーク開催報告

資料4 うみの会議ニュースレター等

資料5 枯松の緊急伐採

資料6 R7年度工事予定

資料7 公園門扉の開放

資料8 赤穂海浜公園指定管理者候補者の選定

参考資料1 兵庫県赤穂海浜公園リノベーション計画（案）＜遊び場環境の充実＞の推進について

参考資料2 第10回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録

1. 開会

赤穂海浜公園管理事務所長挨拶

省略

会長挨拶

省略

2. 赤穂海浜公園管理運営協議会について

(1) 第10回協議会での意見等

- ・資料1「R6年度の協議会での意見と回答等」を説明
- ・参考資料1「兵庫県赤穂海浜公園リノベーション計画（案）＜遊び場環境の充実＞の推進について」を説明
- ・参考資料2「第10回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録」を紹介

委員

アンケート結果（参考資料1）の中から、「自然」へのニーズが出ている。海浜公園らしさということで、自由意見にも記述が見られる。今後の方針に、アクセスしやすい良好な自然を維持していくことが大事であることを、盛り込んでいただきたい。

会長

アンケート結果で、自然に対するニーズが園外の人を対象としたアンケート結果の方に、多く出ていることが興味深かった。新たな来園者の獲得のために、土台としてあるべき自然環境が必要ではないか。

例えば、座るところに日陰があり、子どもがいる所と親がいる所がセットであるということは、海外の公園では基本的なことであるが、日本ではあまりされていない。今後ぜひ検討いただければと思った。

3. 議事

(1) イベント・グループ活動募集状況

- ・資料2「令和6年度イベント・グループ活動募集・実施状況報告」を説明

委員

西播磨高等学校駅伝競走大会は、周回するコースで行われるのか。

事務局

主には周回コースで、園内で折り返しもある。

会長

問い合わせの際に、わん博など大きなイベントに合わせて何かやってみようというような話はあるのか。

事務局

このイベントにあわせて何かしたいという話もあったが、その時は、イベントの主催者側がコンセプトに合ったものにしたいということで、全て主催者側で企画をされた。

委員

自主映画撮影の問い合わせがあり、内容を教えて欲しいと伝えた後、連絡がなくなったとあるが、公園で公開を目的として撮影をする時に、実現可能なこととそうでないことの基準があるのか。

事務局

安全管理のこともあり、撮影の内容を教えてくださいからの判断になる。

委員

気軽に撮影に使ってもらってよいこと、そうでないことをはっきり示せると、勝手に広報してもらえる効果があるのではないかと。YouTuberなどがどんどん来られるように、簡単に明確にわかる実現可能なものの基準が出せないか。

会長

簡単な基準を出すのは難しいと思う。撮影されているのを見て、勝手に使ってよい、危ないことをしてもよい、というようになってくると困る。

委員

日本遺産こども教室「赤穂の塩づくりを学ぶウォークラリー」は、2月上旬に全戸配布するチラシを作っており、参加者の集まりを期待している。地区として年1回開催したい。

グラウンドゴルフ大会は、昔は700人程が集まっていた。コロナで人数が減ったが、300名程集まる。暑いとテントを入れなければならなかったが、車が何台も入るとよくないとのことで、今回、自分たちの手でテントを持って入った。減免はしていただいているが、なぜ使用料がいるのかという人もいる。

(2) インクルーシブプレーパーク開催報告

・資料3「インクルーシブプレーパーク開催報告」を説明

会長

運営スタッフとして、関西福祉大学の学生に多く参加していただいている。同じく運営に赤穂高校の学生も参加されており、大学生が彼等のことも面倒をみてくれていて、非常に良い雰囲気の中で優しい空気が流れており良いなと感じた。

(3) うみの会議実施状況

・資料4「うみの会議ニュースレター等」を説明

委員

「青空広場であそぼう！」は、一般の人が公募してもよいのか。海浜公園を利用したいような遊びや運動を、幼稚園で企画して公園ですることは可能なのか。可能であれば、幼稚園にアピールしても良いか。

事務局

「青空広場であそぼう！」のこのチラシは、プログラムを募集してプログラムをある程度固めようというもので、ある程度固まった時点で、イベント自体の案内チラシを作って広報していく。近隣の幼稚園などへは駐車場料金がかかるので、こちらから案内をしていないが、わんぱく広場などを団体に利用されているところは沢山あるので、今後一緒にやっていると良いところがあれば、やっていけると良いと思う。

委員

公的な行事などで問い合わせや申し込みがあった場合は、そこまでは寛容な状態では受け入れられないということか。実績がないということか。幼稚園が自分たちで道具をもってきて、園内で遊ぶというようなことは可能なのか。

事務局

現在も、バスに乗って子ども園や幼稚園、保育所単位で、沢山ご来園いただいている。特に春や秋など気候が良い時を中心に、例えば春の四季の広場で桜を見ながらお弁当を食べられていたり、秋であればドングリ拾いをさせていただいたりしている。また、わんぱく広場に無料の遊具もあるので、子ども園や幼稚園、保育所単位で沢山来ていただいている。青空広場ではボール遊びもされており、特に制限をしているということはない。

委員

では幼稚園にはアピールしていったらよいということか。

事務局

是非お願いします。

委員

うみの会議の活動、情報発信を続けていけたらよいと思う。

アマモの種まき体験が面白そうだが、その後の芽生えを見に行くようなフォローアップはあるのか。

事務局

種まき体験の時に、「芽が出るのが春頃なので見にきてくださいね」とお伝えはさせていただいている。

委員

管理事務所で芽生えを確認できたら、ホームページで発信をしていただけるとよい。

事務局

是非させていただきたいと思う。

会長

種まき体験を企画していただいた里うみカヤックスさんは、プレーパークの方にも来ていただいている。このように、色々なイベントに違う方が来られており、森が好きな人が海のこととも好きなる、大人が子どものイベントを手伝うなど、いろんなプラスアルファに繋がると良い。

委員

「青空広場であそぼう！」の対象者が幼児から低学年とあるが、広報のやり方を教えて欲しい。

事務局

基本的には、特定の対象へではなく、ホームページでの発信を予定している。

委員

誰でも来てよいのか。

事務局

はい。

会長

今回、手伝いのボランティアも募集していることが、うみの会議の一つの成果でもあると思う。他の県の会議でも、やりたいことを聞くが、やりたいことが無くなってきて、やりたいこと疲れというものがある。できることを実現する、やって欲しい事やニーズに対して、誰かのために何かやりたいと若い人で強く思っている方もいらっしゃる。子どもたちのために、何かしてあげたいというような方は、結構いらっしゃると思う。そういう方にとっても、公園に関わる機会ができて非常に良い。そういう方の中から、やりたいことが出てきた

ら良いし、やりたいことがあった人も、誰かのためにこれをやってみようと工夫したりできると良い。

うみの会議のポイントとしては、どんなプラスアルファができるか。今回やってみて、色々な人の意見や、やり方を見て、例えば、大人が釣りをしたいということがあれば、それを子どもたちに教えてあげてくれないかなど、ちょっと視点を変えたらより楽しくなるというようなことが起こるとというのが、うみの会議の一番のポイントではないか。このようなことが進むと良い。非常に良い活動である。

(4) 枯松の緊急伐採

・資料5「枯松の緊急伐採」を説明

会長

マツノザイセンチュウを殺すために、場所を移動させてチップにするのは大丈夫なのか。

事務局

確認したところ移動させることに問題はなかった。

委員

例えば太い木が多かったのかなど、83本伐採した木の内訳はどうなっているのか。

事務局

太さはバラバラであった。

委員

例えば、伐採した木の中に、日陰を提供しているような大きなものや、景観上大事なものがあり、今後補植が必要になるのか。その辺りの情報も付け加えていただけないか。

事務局

伐採した場所を見たが、日陰や景観上問題があるような場所ではなかったと思う。今後、問題があれば、光都土木事務所と相談していきたい。

(5) 令和6年度工事の進捗状況と7年度工事予定

・資料6「R7年度工事予定」を説明

会長

リノベーション計画の中で、西側の青空広場付近に電気設備工事の予定があるが、イベント用に設けるのか。

事務局

小規模なイベントを想定した整備である。

会長

西側の電気設備の整備がされることで、イベントなどがしやすくなる。

(6) 公園門扉の開放

・資料7「公園門扉の開放」を説明

委員

将来、柵がなくなってくると、歩行者と自転車の通る場所を色分けしてもらわないと、通りにくくなると思う。

地元としては、海岸沿いに自転車が入りやすくなると良い。

委員

門扉を開放することになった根拠は何か。

事務局

これまでは、特定都市公園として開園時間の制限があったが、今年度より特定都市公園でなくなったため、その制限がなくなり24時間門扉を開放することとなった。

委員

やってみなければわからないが、治安問題への不安もあると思う。何かしらあった時に、見直しの可能性はあるのか。

事務局

これまでも、夜に柵を乗り越えて侵入し、自販機が壊されたり、花火でワシントンヤシが焦がされていたり、赤湖や白湖で夜釣りをして、その時のゴミが捨てられていることはあった。

公園内に防犯カメラがなく、県に設置を要望している。防犯対策は、指定管理者の中でも検討して対応していく。

委員

これくらい広いところは、防犯カメラが必要だと思う。

委員

かつては、野良犬が繁殖していた。野良犬、野良猫、タヌキなどの侵入は防げないと思うのが気かりである。

事務局

今年度、イノシシの侵入や、シカが迷い込むことがあり、園内放送で避難誘導を行った。

会長

開放と安全性の両立は難しい。アメリカの公園は24時間開放だが、利用時間は条例で夜明けから日没までと決まっており、利用時間外に行くとは警察に捕まる。捕まえる根拠だけを示しておいて開放はしておくということをされている。日本では、ルールが無かったらなかなか管理者も注意できない。注意することがトラブルに発展することも非常に多い。今まで、できるだけ開放して関わってもらうハードルを下げようと頑張ってきたが、状況が変わったらそれに応じて、これはしてはいけないということが、増えていくこともあるかもしれない。多くの方が安全に楽しく遊ぶために必要なことを、これから考えていければよい。皆さんには利用者の立場の方もいらっしゃるの、利用する上での色々な情報を寄せていただければと思う。

いったん議事として挙げていただいたことはここまでだが、全体を通して今後についてご意見をいただきたい。

設置者の県が行っていくリノベーション計画があり、その上に長期20年の指定管理及び民間事業者による新しい施設を作っていくという、県の中で一番大きく変わる公園になる気がしている。その中でも、今日出てきたような色々なユーザーが見えているものや新しいユーザーを取り込もうとしていること、地域の方々の取り組みも継続していく。中核としては、うみの会議を引き続き行っていく、こういうことを進めていくということを平行していく。

次の指定管理者から、こういった協議会やうみの会議と一緒にしていくことや、リノベーション計画にあわせてやっていくことの話はあったのか。次の時でもよいが、今わかることがあれば教えていただきたい。

事務局

次年度から指定管理を行う5社で、活性化委員会のようなことを月1回程度、開催していくことにしている。協議会の関わりなどまだ具体的な方法はこれから考えていく。

委員

赤穂市で、御崎を開発して企業誘致を行い、開発地区にしようという計画がある。例えば、赤穂海浜公園から御崎の山に向かってロープウェイで繋がれば、両方が栄えてよいのではない。赤穂市と県が、観光開発をしていける案があるのだろうか。赤穂市が発展していくことを考えられたらどうか。

事務局

市との連携については、今回の公募にあたり、DMOと協議をさせていただいた。指定管理者の企業メンバーでもある坂越のくいだょうらぐが、観光協会の副会長でもある。御崎の開発

も睨みながら、何かできることがあれば、両方の地域が良くなっていくことを指定管理者として検討していきたい。

委員

赤穂市の発展と反映のため、是非よろしくお願いしたい。

会長

是非とも考えていただきたい。赤穂は、他所に比べてコンパクトに資源がまとまっているので、やりやすいところもあると思う。

4. その他

(1) 次期指定管理者の決定

・資料8「赤穂海浜公園指定管理者候補者の選定」を説明

会長

今のご説明では、投資見込みが約15億円ということだが、つまり新たな指定管理者の方々には少なくとも15億円を儲けなければいけないということ。それが地域の活性化に繋がり、地域も儲かるという相乗効果を出していかなければならないということは、先ほどのご意見でもいただいた。地域が儲かる、新しい公園のイベントの相乗効果や、儲けを全て再投資するのではなく、儲けを実は支えている環境に投資をしていただくことで、更に儲かるということができるとよい。正しいことや、気持ちよいこと、楽しいことにお金を使う時代で、物にお金を使う時代ではなくなってきているので、そういう活動にもお金が回って、新しい消費にも繋がるのが、公園にも求められる時代となっている。皆さんが三方良しの関係を取り組んでいただきたい。

(2) 次回開催予定

・次回は、6月～7月頃に開催予定

令和7年2月3日（月）に開催された第11回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録は、上記の通りであると認め署名する。

議事録署名人

会 長

赤穂 良樹

委 員

浜野 好正